

(様式2)

## 指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:令和5年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	健康福祉部障がい者支援課
指定管理者	社会福祉法人 長野県社会福祉事業団

### 1 施設名等

施設名	長野県障がい者福祉センター(サンアップル)	住所	長野県長野市大字下駒沢586
		電話	026-295-3111
		ホームページ	<a href="https://www.sun-apple.jp/">https://www.sun-apple.jp/</a>

### 2 施設の概要

設置年月	平成10年4月	根拠条例等	長野県障がい者福祉センター条例
設置目的	障がい者福祉の増進を図ることを目的として、スポーツ、レクリエーション、文化活動及び研修のための便宜を総合的に提供する。		
施設内容	＜スポーツ施設＞ 屋内温水プール、体育館、トレーニングルーム、卓球室、テニスコート、アーチェリー場、陸上競技場 ＜文化施設＞ ホール、会議室(4室)、展示ホール、宿泊室(6室)		
利用料金	＜障がい者等が利用する場合＞ 宿泊施設(1,000円/泊) ＜障がい者等以外が利用する場合＞(障がい者は無料) プール(無料～500円)、体育館(50～150円、半面利用1,000～4,750円、全部利用2,000～9,500円)、トレーニング室(50～150円)、卓球室(400円/2h)、テニスコート(1,500円/2h)、アーチェリー場(50～150円、専用300円/2h)、陸上競技場(50～150円、専用800～2,200円)、ホール(3,100～19,900円)、会議室(700～5,800円)		
開所日	休館日 毎週月曜日、祝日の翌日、毎月第2火曜日、年末年始等を除く		
開所時間	9:00～21:00(火～土曜日)、9:00～17:00(日曜日、祝日)		

### 3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	社会福祉法人長野県社会福祉事業団
平成18年度～25年度	指定管理	社会福祉法人長野県社会福祉事業団
平成26年度～30年度	指定管理	障がい者スポーツ振興グループ

### 4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	社会福祉法人 長野県社会福祉事業団	指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1)		

### 5 指定管理料(決算ベース)

令和5年度(A)	令和4年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
276,545 千円	281,834 千円	-5,289 千円	
	増減理由	価格高騰分の光熱費分の実績減による。	

### 6 指定管理者が行う業務

・センターの施設及び備品の維持管理に関する業務 ・身体障がい者に対する機能訓練並びに障がい者の教養の向上、社会との交流促進及びレクリエーションのための便宜の供与に関する業務 ・障がい者福祉の増進に資する事業に関する業務で知事が必要と認めるもの ・センター利用の許可に関する業務、センター利用に係る料金に関する業務 ・上記に掲げる業務に附帯する用務
---

### 7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	6,912	7,158	8,532	11,569	8,809	8,344	8,627	8,005	7,222	7,414	7,940	9,052	99,584
令和4年度(B)	4,982	5,628	6,937	8,061	6,553	6,445	7,280	6,673	5,879	5,823	6,619	8,512	79,392
(A)/(B)	138.7	127.2	123.0	143.5	134.4	129.5	118.5	120.0	122.8	127.3	120.0	106.3	125.4
増減要因等	令和5年度は、COVID-19以前と同じように営業できた結果、障がい者利用で対前年、約9,400人、一般利用で対前年、約7,000人の増加があった。												

(様式2)

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和5年度(A)	351	291	409	452	475	386	371	365	259	367	457	440	4,623
令和4年度(B)	298	252	308	380	363	290	346	318	281	339	313	371	3,859
(A)/(B)	117.8	115.5	132.8	118.9	130.9	133.1	107.2	114.8	92.2	108.3	146.0	118.6	119.8
増減要因等	COVID-19の位置づけが5類感染症になり、一般利用者及び障がい者利用も少しずつ増えてきたことが要因と思われる。												

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有・ <input checked="" type="radio"/> 無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和5年度(A):287日	令和5年度(A):9:00~21:00	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
令和4年度(B):288日	令和4年度(B):9:00~21:00		

(5) サービス向上のため実施した内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年を通してCOVID-19以前の事業規模、内容実施でできた。</li> <li>・利用者駐車場の白線を引き直すことで安心、安全に駐車できるように努めた。</li> <li>・スポーツ庁障がい者スポーツ実施環境の構築支援・拠点整備事業において、「陸上競技用の光刺激スタート発信装置」を購入し、機器の操作、利用の促進を目的に聴覚障がいの選手及び関係者に向けた「陸上体験会」を実施した。</li> </ul>
--

(6) その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本障がい者体育・スポーツ研究会」を実施し、当センターを会場に県内でパラスポーツ事業を実施している指導者等が実践発表を行う機会をつくり、県内におけるパラスポーツの発信に取り組んだ。</li> <li>・ホームページに県内の障がいのある方のスポーツサークル、クラブ紹介を掲載し、多様なスポーツの取組を発信するとともに、スポーツに取り組む一助としていただいた。</li> </ul>
--

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「見やすい」「分かりやすい」「使いやすい」ホームページのリニューアルを進め、R6年度4月から新しいホームページに一新した。</li> <li>・土曜日、日曜日、祝日の路線バス減便に伴い、利用者の利便性を高めるため、7月～9月の3か月間限定で送迎バスの試験運転を行ったが、残念ながら利用率が伸びず、本実施には至らなかった。</li> </ul>
---

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	・協定書・仕様書及び年度計画に基づき、施設の設置目的に沿った効率的・効果的な管理運営を実施した。	・協定書、仕様書及び年度計画に基づき適正に運営が行われている。	B
平等な利用の確保	・長野県障がい者福祉センター条例及び同管理規則等の主旨に沿った利用上の内規を定め、障がい者等の利用を妨げない範囲内において、障がい者等以外の者を含む全ての利用者が、公平・平等に利用いただけるよう努めている。	・施設の設置目的上、障がい者やその介護者が優先利用できるように配慮しつつ、障がい者の利用を妨げない範囲で健常者が利用できるよう配慮している。また、広く県民に利用してもらえるよう施設の利用方法についてルールを設けている。	B
利用者サービス向上の取組	・サンスポートでは、「公式LINE」を開設しスポーツ教室、イベント、ボランティア活動を発信し参加者、支援者へ情報を提供した。 ・登録クラブの活動支援及びクラブ大会の実施により利用者の参加種目の拡大と活動の場を増やすことに取り組んだ。	・年間を通じて満足度調査を実施しており、利用者からの意見・要望については職員で共有し、改善が必要な事項については、速やかに改善して利用者サービスの向上につなげている。 ・利用代表者や施設職員等による「事業検討・サービス評価委員会」を開催し、事業の効率性・実効性の向上を図っている。	A
自主事業	・巡回展に合わせて、地域の障がい者施設等と作品の展示会を合同で開催した。	・文化芸術に親しむことができるよう、長野県障がい者文化芸術祭の開催(WEB展示会も併せて)や交流イベントの開催などの障がい者の社会参加拡大に係る活動を実施している。	B
職員・管理体制	・仕様書及び事業計画に基づく職員配置に努めた。 ・利用者の安全確保のため、施設・設備の適正な法定点検を実施すると共に、消防訓練(年2回)及び水防訓練(年1回)、洪水等避難訓練(年1回)を行った。	・事業計画に沿った職員配置ができています。 ・施設、設備の法定点検や消防・水難訓練等の実施により、障がい者が安全に利用できるよう取り組んでいます。	B
収支状況	・収入額 285,982千円 ・支出額 290,551千円(うち人件費147,223千円) ・収支差額は▲4,569千円	物価高騰の影響を受けたが適正な収支状況である。	B
総合評価	令和5年度は、5月にCOVID19の位置づけが5類感染症に変更され、通年を通して事業規模、内容に変更なく、実施できたことから、利用者数及び利用料収入が増加した。	概ね仕様書に沿った適切な事業運営が行われている。	B

(様式2)

- <評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。  
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。  
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。  
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	・施設の建設後26年が経過するなかで、施設設備等の経年劣化が進み突発的な故障等も生じ、修繕等に要する事務・費用分担が増加している。	・建物及び設備の修繕について、引き続き計画的に実施していく必要がある。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:令和2年12月18日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
1 顧客満足度調査のアンケート項目の見直しを適時行い、利用者のニーズを分析し、同時に施設のサービス評価委員の評価も受けながらより良い施設運営を行ってほしい。 2 多様な自主的企画に取り組まれているが、ぜひ、その企画・運営等にも可能な限り障がい等のある当事者の参加を検討してほしい。	1.利用者層、ニーズを把握し事業内容を工夫すると共に、サービス評価委員からの意見を取り入れ運営に努めた。 2.障がいの登録クラブ2団体(ボッチャ、アーチェリー)がセンターと協力して企画、運営を行う大会を実施した。併せて、水泳、卓球大会は、競技団体が入り、意見交換しながら運営を行った。	1 令和3年度から新たなアンケート様式に変更し、利用者ニーズを的確に把握・分析し、委員の意見も踏まえながら、より良い施設運営を行う。 2 現在、競技大会(水泳、卓球)においては、当時者の参加のみでなく、当日の運営に障がい者競技団体が参画している。今後一層、障がいのある方が企画、運営に携わっていただけるように働きかけを行う。
広い県内ではあるが、中信、南信等の利用希望者も平等に施設が利用できるよう努力してほしい。	・北信に位置する施設であることから、交通手段を考えても全県からの利用者希望に応えることは立地的に困難であることから、4つのサンスポートでは、各地域において、行政、総合型スポーツクラブ等関係団体と協力、連携し全県平等に事業展開をした。ストレッチタイム、リズムフィットネスは、継続してライブ配信で提供した。	・行政・福祉・スポーツ団体と連携・協力し、県内全域の障がいのある方のスポーツ振興を、各地にあるサンスポートを拠点に今後も、継続して取り組んでいく。
1 施設のホームページのサービスメニュー欄が煩雑な印象で見づらいため、多様な利用者に受け入れられるような構成にしてほしい。 2 利用者増が伸び悩んでいる現状と、市町村等の施設でも障がい者に対するサービス提供が進む中、他の施設にはない特色を出し、さらなる利用率向上に努めてほしい。	1 「見やすい」「わかりやすい」「使いやすい」ホームページとしてR6.4月から新たに運用を始めた。 2. パラスポーツ体験会等のイベントを市町村、総合型スポーツクラブにおいても実施している中、県民の意識の高まりを感じる。継続的にスポーツに取り組める場と専門性のある指導員が常駐しているセンターとして、県内のニーズに応えられるように今後も努めていく。	1 地域の障がい者等に対する利用の向上につながるような広報活動を検討していく。 2 当センターの特色である専門性を兼ね備えたスポーツ・運動の支援・指導を進めていく。
所管課は、事業計画に沿った職員配置となっているとの評価ではあるが、人件費の決算が予算比10%減となっている。そのことへの合理的な説明が施設側からなく、また想定し得る人事異動等が加味されていない。	・予算の策定においては、決算状況をしっかりと分析し、人事異動も加味した内容とする。	・予算・決算のかい離については、十分な分析を行うとともに、説明責任を果たせるよう取り組み、また事業計画書作成時には、計画的な人員配置及び人事異動等を加味した予算編成に努める。
1 各事業の取組について、障がい者団体等だけでなく、県民一人ひとりにもその内容を伝え、参加の呼びかけを行ってほしい。 2 他団体と共同しての企画の取組は良いことであるので、今後も一層連携して実施してほしい。	1. 当センターの事業をより理解いただき、ともにパラスポーツを振興していくことを目的に市町村障がい者スポーツ担当者会議(県障がい者支援課主催)の中で、当方のパラスポーツの取組を発信し市町村に働きかけができたことは、今後、市町村を通じて県民にパラスポーツを理解いただく機会に繋がった。 2. 当センターでは、障がいのある人もない人も共に活動するスポーツ環境づくりを日々の取組の中で行っており、その経験、スキルをもとに、県内外の各種団体(行政、福祉、スポーツ関係団体)と連携したス	1 より多くの方々に事業を伝える広報活動を心掛ける。 2 行政をはじめ、様々な団体等との協働・連携を通じて事業を進めていく。
修繕費について、修繕が必要となった経緯が不明確なものが散見される。	・緊急性、必要性を十分考慮したうえで修繕を行う。また、その経過も記録していく。	・小規模修繕を実施する際にも、修繕が必要となった経緯や修繕の必要性をしっかりと分析し、適切な修繕に努める。
1 県の定期的なモニタリングを強化し、予算の適正な執行をしてほしい。 2 障害福祉サービス分野は法律改正等、常に制度が変化していることから、常に情報を速やかに入手し、先駆的施設として取り組んでほしい。	1. 県と指定管理者で相談し連携をとりながら、適正な予算の執行に努めている。 2. 全国障害者スポーツセンター協議会等、県内外の関連事業所と情報交換をしながら、また法律改正等の動向に絶えず注視するよう、職員意識の醸成を図る。	1 県と指定管理者とで連携を密にとり、適正な執行となるよう努める。 2 県をはじめとする行政機関や本部事務局、他県の同種施設等とのつながりを深め、情報収集に努めるとともに、情報発信を行う。
全国障害者スポーツ大会の長野県開催が予定されている中、市町村も障がい者スポーツ行政の機運醸成に取り組んでいる。そこで施設を県民に広げる観点と、市町村の障がい者スポーツ推進の観点からも、より両者の連携を深めていってほしい。	・各市町村が独自にパラスポーツイベントに取り組みはじめている中、当センターの活用はもとより、市町村が管理する施設において、パラスポーツの推進に協力できるように今後とも連携、協力をしていく。	・利用しやすい施設を目指すとともに、本館、サンスポートでは、障がいのある人のスポーツ推進に向けて貸出用具を拡大する。また、多くの方に障がい者スポーツを實踐していただけるよう市町村等との連携・協力を図る。